

仕様書様式3

業務報告書(教室実施日の日報)

記入者

日時	令和 年 月 日()		
場所			
参加スタッフ			
参加者	出席者:		計 名
	欠席者:		計 名
当日の流れ		運営時の特記事項 ・利用者様の体調を見ながら行い、室内の温度調節等で熱中症予防を行う。	
プログラム名:			
参加者	参加時の様子		
A様	何度かそば打ちを体験されている為「俺はできるからいいよ」と他の方に譲る姿が見受けられました。		
B様	普段から蕎麦は食べずうどんのみとの事でしたが、自分で打った蕎麦はおいしいと召し上がっていました。ご主人さまも蕎麦を食べているのをはじめて見たとの事で、「お前蕎麦食べられるの?」と仰っていました。		
C様	一緒にグループになった方々に蕎麦打ちの工程で分からない箇所を説明して下さっていました。		
D様	普段はまったく家事をしないとの事で、途中作業を奥様に任せて見学されています。力を入れて混ぜる事が出来ず苦労されていましたが、切る作業では慣れた手つきでスムーズに行われています。		
E様	何度か経験されている行程でしたが、生地を伸ばす時に力を入れすぎてしまったり混ぜる時に潰してしまったりと工程内容はあまり覚えておらず、切る時も工程理解にやや時間を要していました。		
F様	蕎麦打ちは初めてとの事でした。蕎麦の出来に満足され職員にも「食べて?」と進められていました。片付けの際も、職員を手伝ってくださいました。		
G様	「主婦ずっとやってるから慣れてるの」と準備や片づけを手伝って下さっています。蕎麦は昔友達と打った事があるとの事で作業を説明するとすぐに手際よく行われております。「自分で作ったから美味しい」と出来上がりに満足されています。		
H様	昨年度打った蕎麦打ちの工程を覚えていらして、同チームの方にフォローやアドバイスをを行いながら作業されていました。		
I様	蕎麦打ちは初めてとの事でしたが、「私押さえてるね」と鉢を押さえたり水を入れる係を行ったり、同じチームの方と協力しながら進められていらっしゃいました。蕎麦のゆで上がりに時間がかかり「まだなの?早く打ち終わったのに」と表情も硬くなっていましたが蕎麦が茹で上がると笑顔で召し上がられていました。		
J様	包丁を使う工程は、「指を切ったら大変」と言われ見学されていましたが、それ以外はとても積極的に参加して下さいました。		
その他			
参加者	参加時の様子		
A様	右前腕に皮下出血痕があり聞くと、杖を持つ方の手なので日焼けしてしまいその掻痒感の為夜寝つけずにかきむしってしまうとの事でした。皮膚表面は傷はありませんでしたが、お友達から皮膚科でもらった痒み止めを塗布されているそうです。痒みが続く様なら受診をお勧めしています。		
B様	最近物忘れが多くなってきた事を心配されています。何もしなくなるとダメだからと家事はなるべく自分でする様にしているとの事です。娘様が熱中症になったので自分も気をつけなければと話されています。外出した際に具合が悪くなって熱中症だったのではないかと、お嫁様よりお話がありました。		
C様	シルバーカーが無いと歩けない為、外出しなくなってしまったとの事です。		
D様	集中豪雨の時に床上浸水してしまい、量がダメになりクーラーが故障したりして「40万くらいかった」と仰られていました。		